



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2018年3月期 決算説明会資料

2018年5月25日

株式会社ケアサービス
(東証JASDAQ 2425)

- P. 3 2018年3月期 連結決算概要
- P. 1 4 2019年3月期 通期連結業績予想概要
- P. 1 8 2018年3月期 トピックス
- P. 2 6 2018年度介護報酬改定の影響
- P. 3 1 中期成長戦略の骨子
- P. 4 3 3か年計画数値目標
- P. 4 6 参考資料



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2018年3月期 連結決算概要

2018年3月期 実績（17-5-15付 対予想比）

- 売上高： 対予想比 1.2%未達
- 営業利益： 同 1.9%未達
- 経常利益： 同 4.4%超過達成
- 親会社株主に帰属する当期純利益： 同 15.3%未達

(百万円)	18/3月期 (連結)		18/3月期 (連結)		対予想比 (5/15付)	
	予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	8,712	100.0%	8,611	100.0%	△ 100	-1.2%
介護事業	6,225	71.5%	6,149	71.4%	△ 76	-1.2%
エンゼルケア事業	1,878	21.6%	1,908	22.2%	29	1.6%
フォーライフ事業	608	7.0%	554	6.4%	△ 54	-8.9%
営業利益	240	2.8%	235	2.7%	△ 4	-1.9%
経常利益	222	2.6%	232	2.7%	9	4.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	140	1.6%	118	1.4%	△ 21	-15.3%

2018年3月期 決算サマリ (対前期比)

- 売上高： 対前期比 2.1%増収
- 営業利益： 同 0.6%増益
- 経常利益： 同 19.6%減益 ※
- 親会社株主に帰属する当期純利益： 同 23.9%減益

(百万円)	17/3月期 (連結)		18/3月期 (連結)		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	8,435	100.0%	8,611	100.0%	176	2.1%
売上総利益	1,135	13.5%	1,206	14.0%	70	6.2%
販売費及び一般管理費	901	10.7%	971	11.3%	69	7.7%
営業利益	234	2.8%	235	2.7%	1	0.6%
経常利益	289 ※	3.4%	232	2.7%	△ 56	-19.6%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
特別損失	24	0.3%	12	0.1%	△ 12	-49.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	156	1.9%	118	1.4%	△ 37	-23.9%

※17/3期は受取和解金60百万円があった分、経常利益が増加しました。

2018年3月期 事業別業績概要

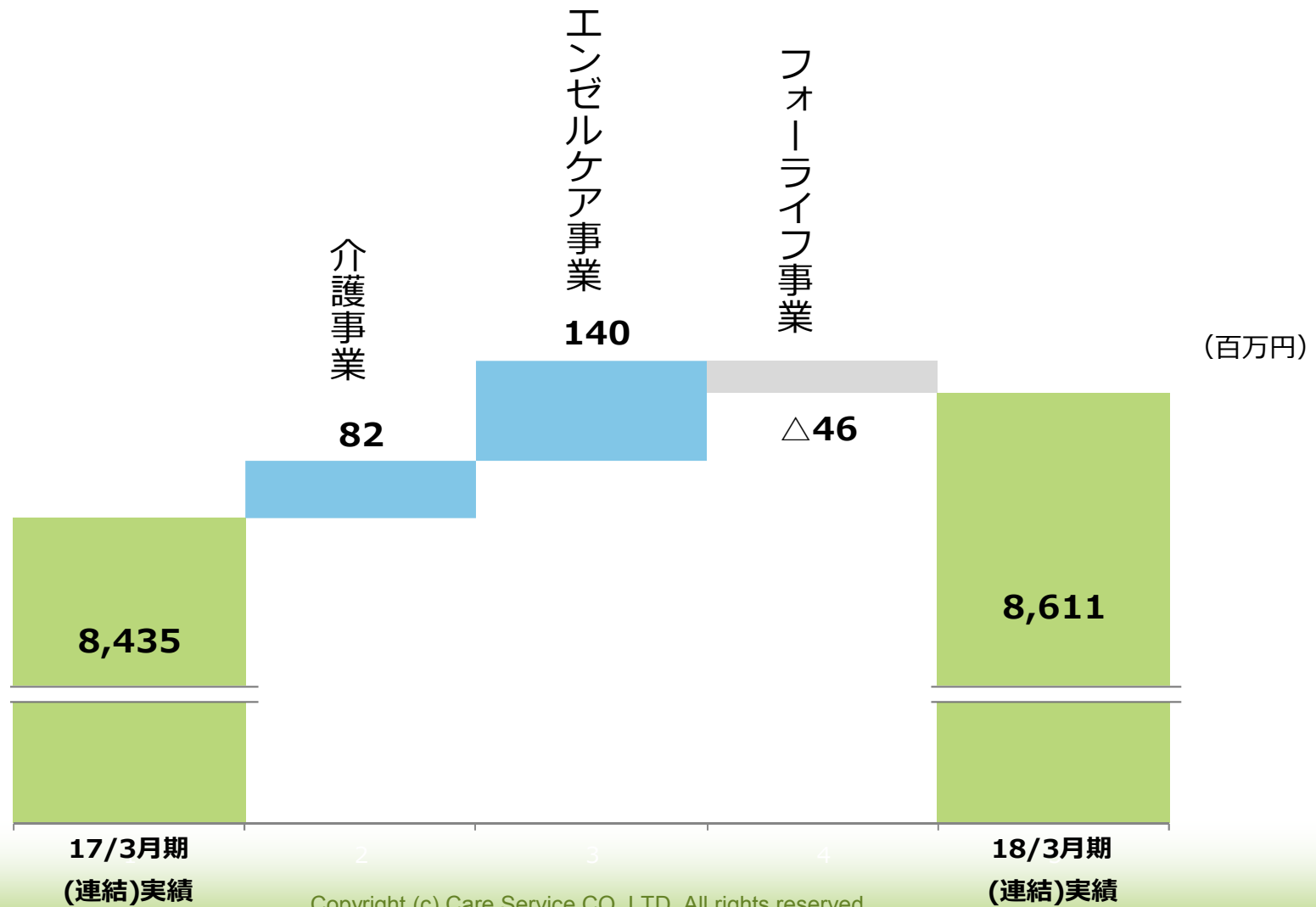
- 介護事業： 対前期比 1.4%増収 16.1%増益
- エンゼルケア事業： 同 8.0%増収 9.3%増益
- フォーライフ事業： 同 7.8%減収 90.6%減益

(百万円)	17/3月期 (連結)		18/3月期 (連結)		対前期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	8,435	100.0%	8,611	100.0%	176	2.1%
介護事業	6,066	71.9%	6,149	71.4%	82	1.4%
エンゼルケア事業	1,767	21.0%	1,908	22.2%	140	8.0%
フォーライフ事業	601	7.1%	554	6.4%	△ 46	-7.8%
セグメント利益	1,062	12.6%	1,166	13.5%	103	9.8%
介護事業	630*	10.4%	731	11.9%	101	16.1%
エンゼルケア事業	394	22.3%	431	22.6%	36	9.3%
フォーライフ事業	37	6.3%	3	0.6%	△ 34	-90.6%
調整額	△ 828*	-9.8%	△ 930	-10.8%	△ 102	-12.4%
営業利益	234	2.8%	235	2.7%	1	0.6%

※従来「介護事業」に属していた一部の部署の業務内容が事業横断的な業務に変更されたため、当連結会計年度より、当該部署の属するセグメント区分の変更を行っております。この結果、従来「介護事業」に配分されていた費用の一部が「調整額」に配分されております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

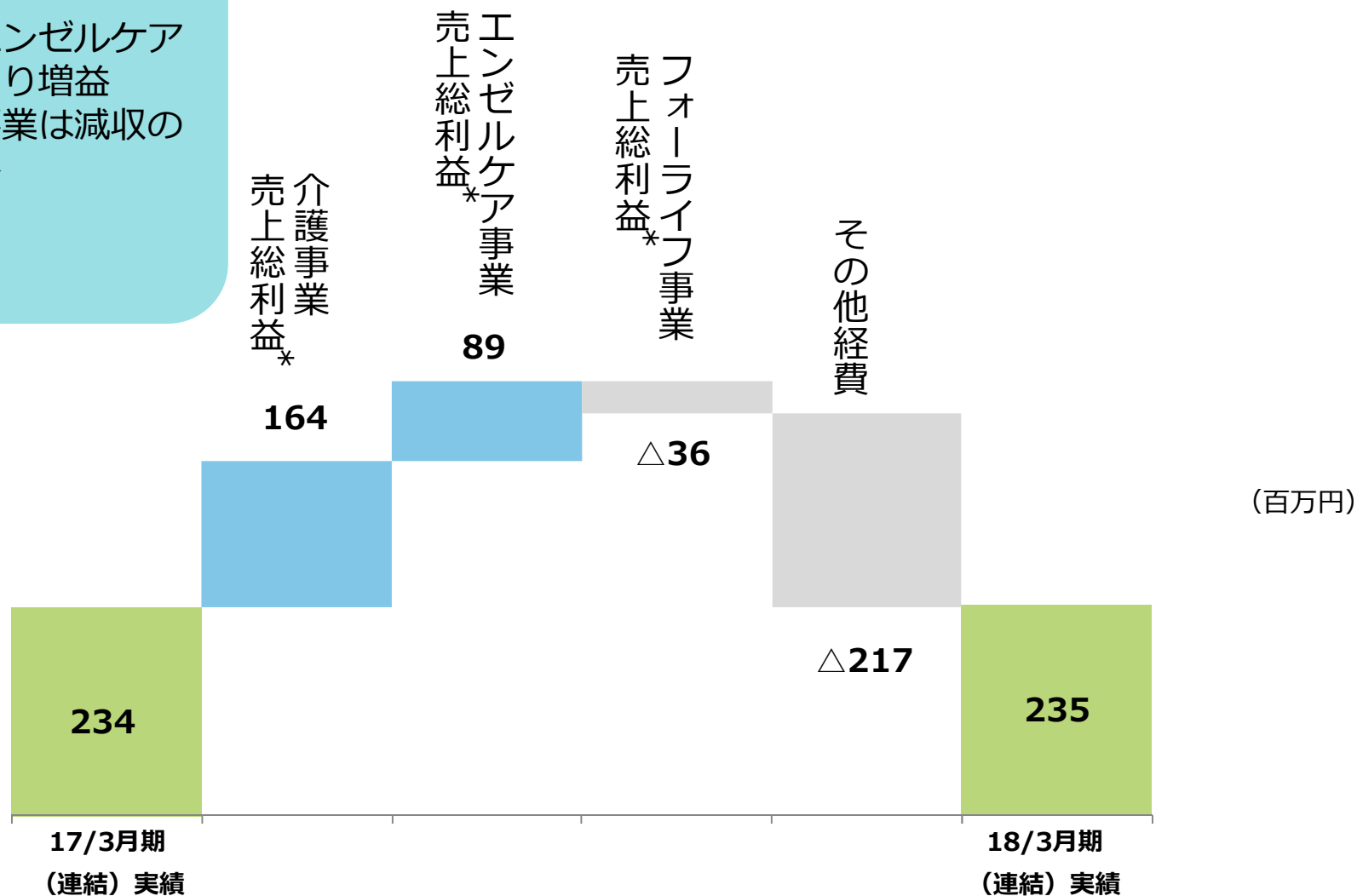
2018年3月期 売上高の増減分析

介護事業、エンゼルケア事業は増収を達成
フォーライフ事業は競争激化の影響により減収



2018年3月期 営業利益の増減分析

介護事業及びエンゼルケア
事業は増収により増益
フォーライフ事業は減収の
影響により減益



*注意： 人件費を除いた売上総利益額です

2018年3月期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	17/3月期末 (連結)		18/3月期末 (連結)		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,058	73.2%	2,202	74.1%	144
現金・預金	645	23.0%	736	24.8%	90
売掛金	1,269	45.2%	1,295	43.6%	26
固定資産	752	26.8%	770	25.9%	17
有形固定資産	291	10.4%	294	9.9%	3
無形固定資産	94	3.4%	96	3.2%	2
投資その他の資産	367	13.1%	378	12.7%	11
資産合計	2,811	100.0%	2,973	100.0%	162
流動負債	1,009	35.9%	1,191	40.1%	181
買掛金	125	4.5%	125	4.2%	0
1年以内返済予定の 長期借入金	237	8.5%	234	7.9%	△ 3
未払金	33	1.2%	181	6.1%	147
固定負債	479	17.1%	383	12.9%	△ 96
長期借入金	324	11.6%	252	8.5%	△ 71
負債合計	1,489	53.0%	1,574	53.0%	85
株主資本	1,325	47.1%	1,418	47.7%	93
資本金	205	7.3%	205	6.9%	0
資本剰余金	138	4.9%	138	4.6%	0
利益剰余金	1,129	40.2%	1,223	41.1%	93
自己株式	△ 148	-5.3%	△ 148	-5.0%	0
その他の包括利益累計額	△ 3	-0.1%	△ 7	-0.2%	△ 3
純資産合計	1,321	47.0%	1,398	47.0%	76
負債・純資産合計	2,811	100.0%	2,973	100.0%	162

【ご参考】自己資本比率の推移

- 17/3月期末 47.0%
- 18/3月期末 47.5%

2018年3月期 キャッシュ・フロー計算書サマリ

(百万円)	17/3月期 (連結) 実績	18/3月期 (連結) 実績	対前期比 増減額
税引前当期純利益	264	219	△ 44
減価償却費	125	116	△ 9
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 1	△ 26	△ 25
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 19	0	20
和解金の受取額	60	0	△ 60
法人税等の支払額	△ 130	△ 113	16
その他	△ 51	109	160
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	247	305	58
有形固定資産の取得による支出	△ 46	△ 31	14
無形固定資産の取得による支出	△ 2	△ 19	△ 17
その他	0	△ 12	△ 11
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 49	△ 63	△ 14
長期借入れによる収入	150	200	50
長期借入金の返済による支出	△ 238	△ 275	△ 36
配当金の支払額	△ 24	△ 25	△ 1
その他	△ 88	△ 45	42
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 201	△ 146	54
現金及び現金同等物の増減額	△ 4	90	95
現金及び現金同等物の期末残高	645	736	90

事業別事業所数・人員数の推移（国内）

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	17/3月期				18/3月期				対前期末比 増減数
	新規	統合	閉店	期末 事業所数	新規	統合	閉店	期末 事業所数	
介護事業	1	5	2	77	3	2	2	76	△ 1
デイサービス（通所介護サービス）	0	3	1	49	1	2	0	48	△ 1
訪問入浴サービス	0	0	0	12	1	0	0	13	1
その他サービス	1	2	1	16	1	0	2	15	△ 1
エンゼルケア事業	0	0	0	21	2	0	0	23	2
フォーライフ事業	0	0	0	4	0	0	0	4	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	17/3月期	18/3月期	対前期末比 増減数
介護事業	930	939	9
エンゼルケア事業	216	222	6
フォーライフ事業	71	69	△ 2
合計	1,217	1,230	13

※数値にはパート従業員を含む

< 18/3月期 新規出店・統廃合店舗 >

新規出店

- 訪問入浴 コトニア赤羽【17/6】
- エンゼルケア立川事業所【17/7】
- 小規模多機能型居宅介護【17/10】
- デイサービスセンター弦巻【17/10】
- エンゼルケア米沢事業所【17/11】

統廃合

- デイサービスセンター駒沢と下馬を統合し弦巻に移転、2事業所は閉鎖【17/9】

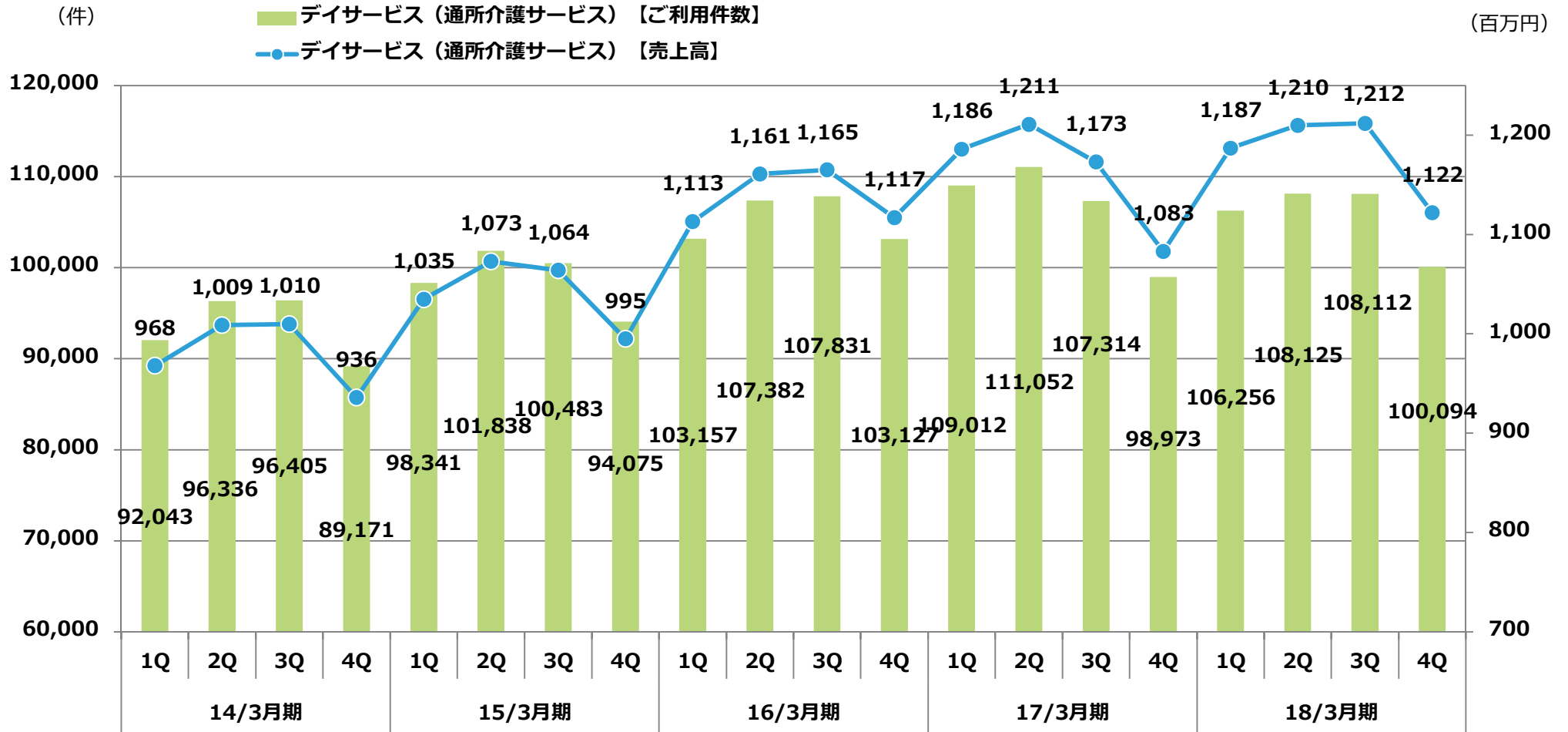
閉店・休止・廃止

- ショートステイ西蒲田【17/9廃止】※2016年10月より休止
- ケアプランセンターコトニア赤羽【18/3閉店】

- 赤字事業所の合理化・人員の最適化を目的として17/3月期の下期に実施した事業所統廃合の影響で減少した売上高及びご利用件数が回復
- 訪問入浴サービスは売上高・ご利用件数ともに減少

	16/3月期 (連結)実績			17/3月期 (連結)実績			18/3月期 (連結)実績		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高【百万円】									
介護事業	3,043	3,016	6,060	3,136	2,930	6,066	3,106	3,042	6,149
デイサービス（通所介護サービス）	2,271	2,280	4,552	2,396	2,257	4,653	2,398	2,337	4,736
訪問入浴サービス	506	467	973	473	454	927	471	440	912
その他	265	268	534	267	219	486	237	265	501
ご利用件数									
介護事業	279,413	276,709	556,122	284,109	263,087	547,196	273,097	263,357	536,454
デイサービス（通所介護サービス）	210,539	210,958	421,497	220,064	206,287	426,351	214,381	208,206	422,587
訪問入浴サービス	35,084	32,431	67,515	32,222	30,892	63,114	31,321	29,228	60,549
その他	33,790	33,320	67,110	31,823	25,908	57,731	27,395	25,923	53,318

介護事業（デイサービス） ご利用件数の推移





介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2019年3月期 通期連結業績予想概要

2019年3月期 業績予想サマリ

- エンゼルケア事業
 - ・ 既存23店舗の稼働率向上を推進
 - ・ 中国国営の3 殯儀館（葬儀場）における稼働率向上を推進
- 介護事業
 - ・ デイサービス1 店舗開設、既存47店舗の稼働率向上を推進。
 - ・ デイサービス13店舗で展開している日曜営業の一層の稼働率向上を推進
 - ・ やさしい手社から譲受する訪問入浴事業との統合により稼働率向上を推進
 - ・ 中国子会社における介護事業本格化
- フォーライフ事業・・・既存施設4店舗の入居率向上を推進

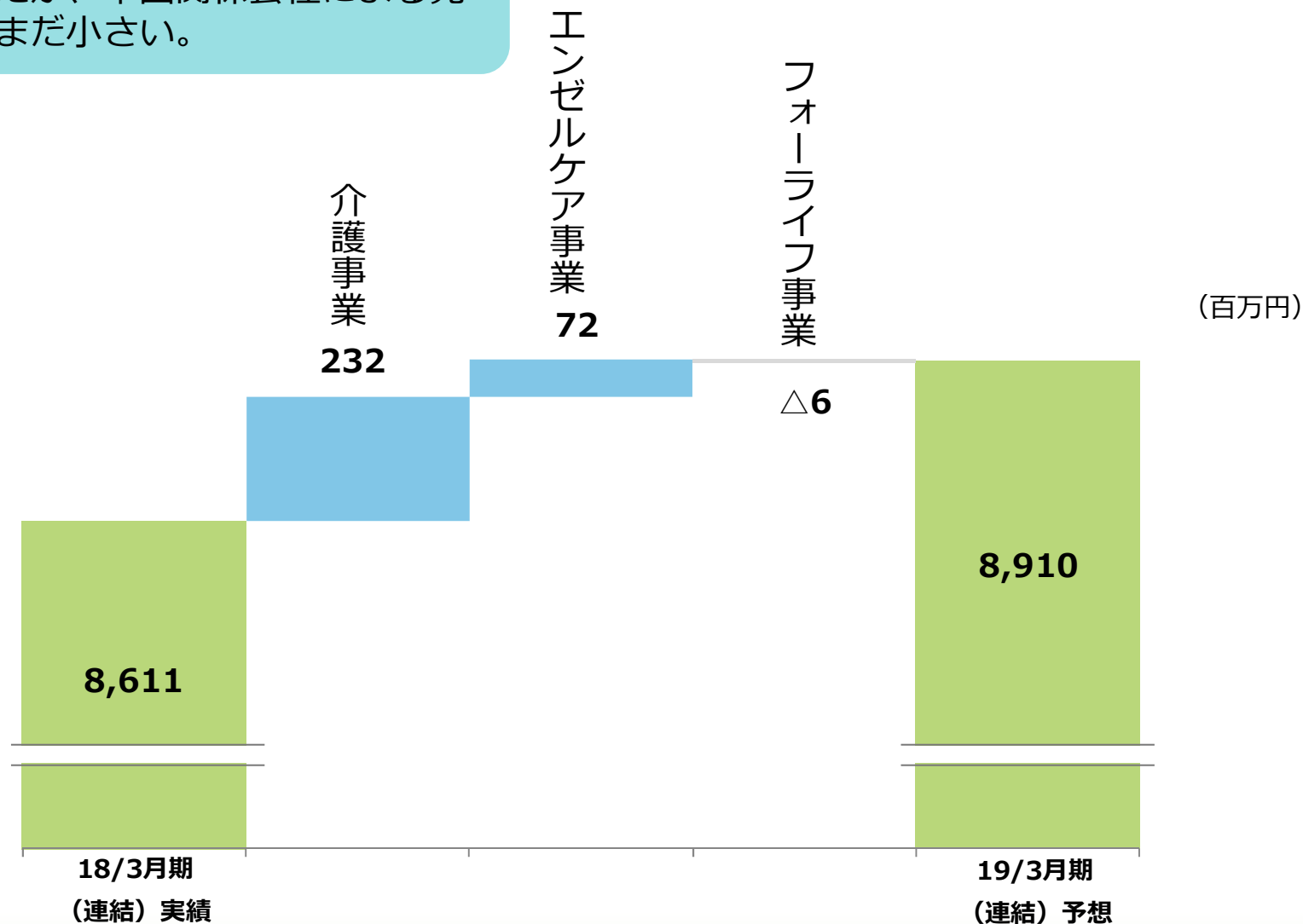
	(単位)	18/3月期 通期実績 (連結)	19/3月期 通期予想 (連結)	対前期比	
				増減額	増減率
売上高	(百万円)	8,611	8,910	298	3.5%
介護事業	(百万円)	6,149	6,381	232	3.8%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,908	1,980	72	3.8%
フォーライフ事業	(百万円)	554	547	△ 6	-1.2%
営業利益	(百万円)	235	256	20	8.8%
経常利益	(百万円)	232	261	28	12.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	118	155	36	31.1%
主要拠点数 ※1					
介護事業	(拠点)	76	79	3	0.0%
エンゼルケア事業	(拠点)	23	23	0	0.0%
フォーライフ事業 ※2	(拠点)	4	4	0	0.0%

※1 主要拠点数は国内のみ記載しております

※2 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

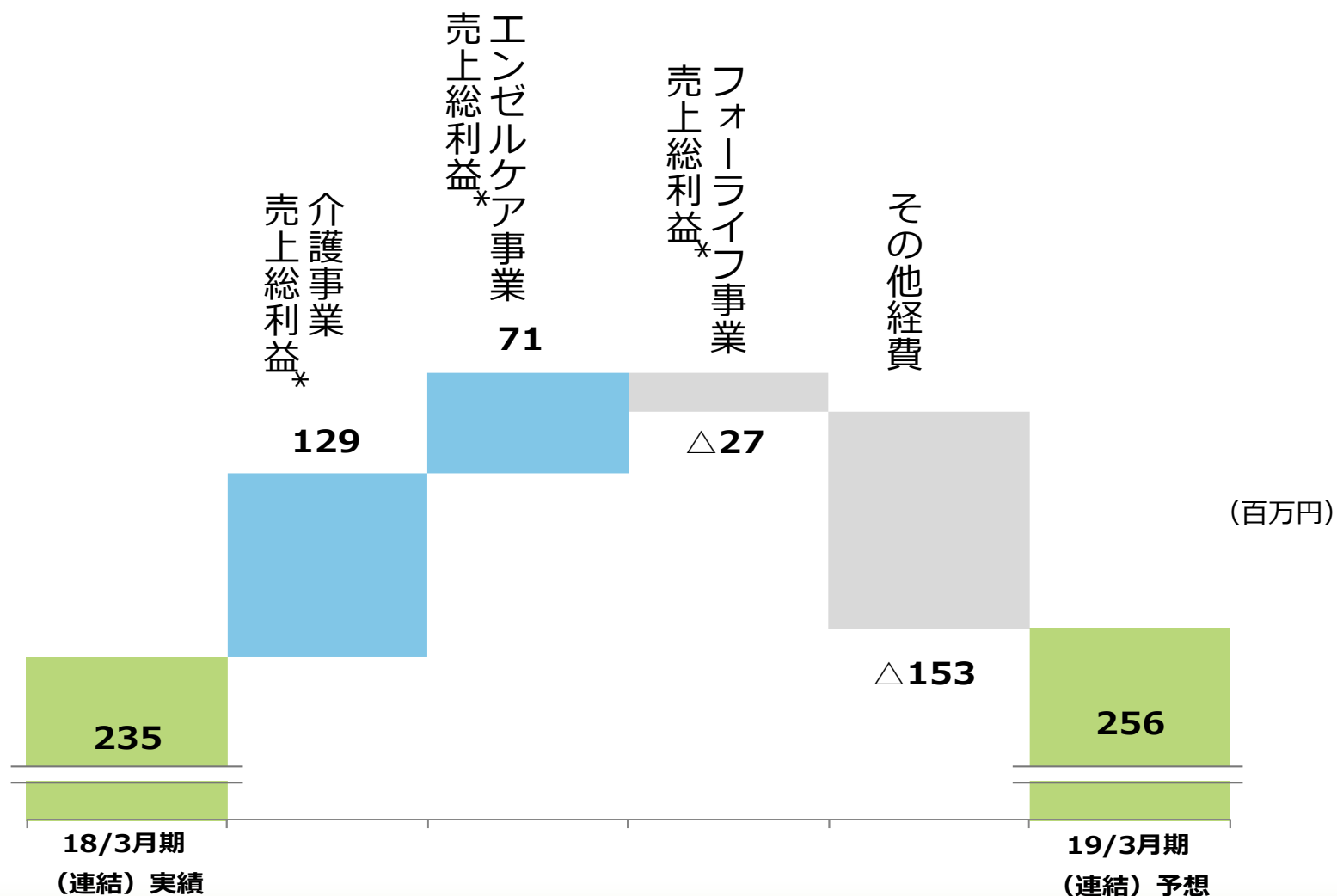
2019年3月期 売上高予想の増減分析

2018年度介護報酬改定の影響は出るが、介護事業は増収を確保。介護事業、エンゼルケア事業ともに増収だが、中国関係会社による売上高寄与度は、まだ小さい。



2019年3月期 営業利益予想の増減分析

2018年度介護報酬改定の影響により、デイサービスが影響を受けるが、その影響を補い、増益予定。フォーライフは競争激化のため、入居率が落ち、減益となる。全体で着実に利益を確保し、事業成長を推進



*注意： 人件費を除いた売上総利益額です



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2018年3月期 トピックス

**1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進**

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

訪問入浴事業所の新設

- 2017年6月「訪問入浴 コトニア赤羽」事業所開設
⇒ JRの施設であるコトニア赤羽内に既に展開している介護サービス事業所に加えて
訪問入浴事業所を開設。



訪問入浴サービスのイメージ

国内エンゼルケアの2事業所の新設

- **大手葬儀社や互助会と連携し、エンゼルケア2事業所を新設、早期黒字を達成**
⇒エンゼルケア事業所の新設は、既に取り引のある葬儀社や互助会からの拡大や当社指名があった際に実施しているため、一定数の受注が予め見込め、今回も早期の単月黒字を達成。
 - ・ 2017年7月エンゼルケア立川事業所新設
 - ・ 2017年11月エンゼルケア米沢事業所新設



エンゼルケアサービスのイメージ

介護に特化した人材事業を行う子会社を設立

- **2017年4月「株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル」を設立**
 - ⇒介護求人における求職者と事業者のミスマッチを解決すべく介護に特化した人材子会社を設立。
 - ⇒2019年3月期に本格化する人材紹介事業及び紹介予定派遣事業に向けて、有料職業紹介事業許可及び労働者派遣事業許可を取得。

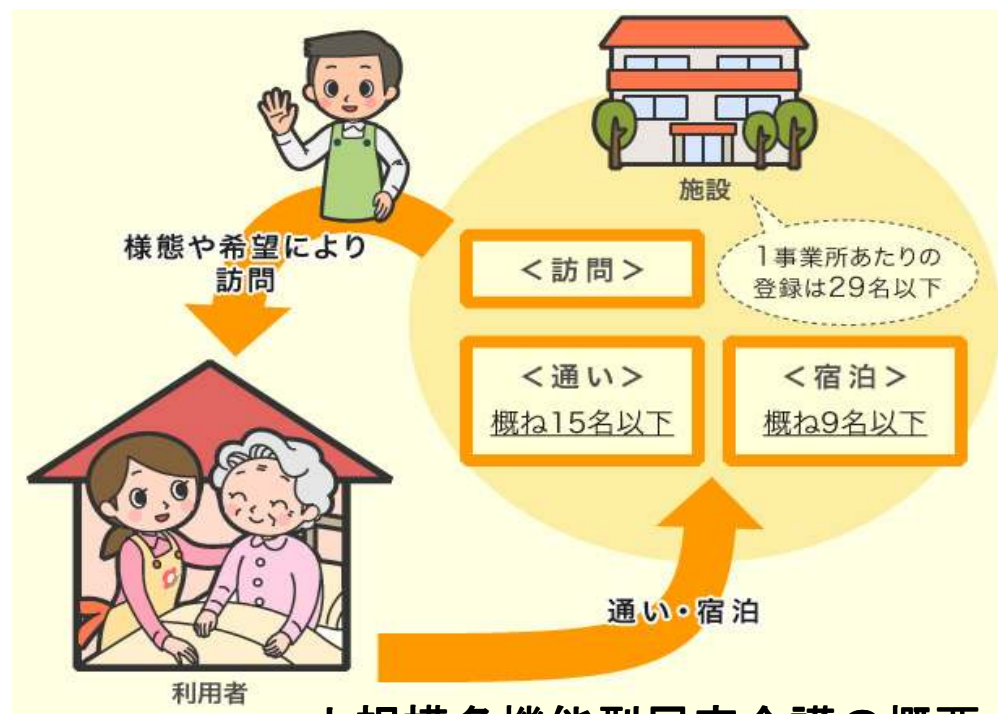


株式会社 ケアサービス
ヒューマンキャピタル

有料職業紹介事業許可番号：13-ユ-308829
労働者派遣事業許可番号：派13-308286

小規模多機能型居宅介護サービスの提供開始

- 2017年10月 休止していた「ショートステイ西蒲田」を転用し、「小規模多機能型居宅介護西蒲田」としてリニューアルオープン
⇒ 「通い」、「宿泊」、「訪問」を組み合わせた地域密着型介護サービスである小規模多機能型居宅介護サービスの提供を開始。



小規模多機能型居宅介護の概要

出典：厚生労働省ホームページ「どんなサービスがあるの？ - 小規模多機能型居宅介護」、
<<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/publish/group11.html>> 2017年10月20日アクセス。

上海におけるエンゼルケアサービス提供殯儀館（葬儀場）の拡大

- 2017年5月「上海市閔行区殯儀館（葬儀場）」にてサービス提供開始
- 2017年9月「上海市奉賢区殯儀館（葬儀場）」にてサービス提供開始
⇒2016年11月にエンゼルケアサービスを開始した上海市松江区殯儀館（葬儀場）に上記2つを加えて上海市に15ある国営殯儀館（葬儀場）のうち3葬儀場でのサービスを提供。実績を上げて次の葬儀場の獲得を目指す。



閔行区葬儀場内サービス提供専用室



奉賢区葬儀場内エンゼルケア広告

北京・上海におけるサービス提供体制の確立

中国（北京・上海）にて
「介護からエンゼルケアまで」の
一貫したサービスの提供を目指す

上海にて、養老院など介護施設
の経営及びコンサルティング
サービスを提供

北京福原順欣養老
管理有限公司

連結子会社

（出資比率60%）

※2017年8月設立

上海保原健康管理
諮詢有限公司

持分法適用関連会社

（出資比率30%）

※2018年1月設立

上海福原護理
服務有限公司

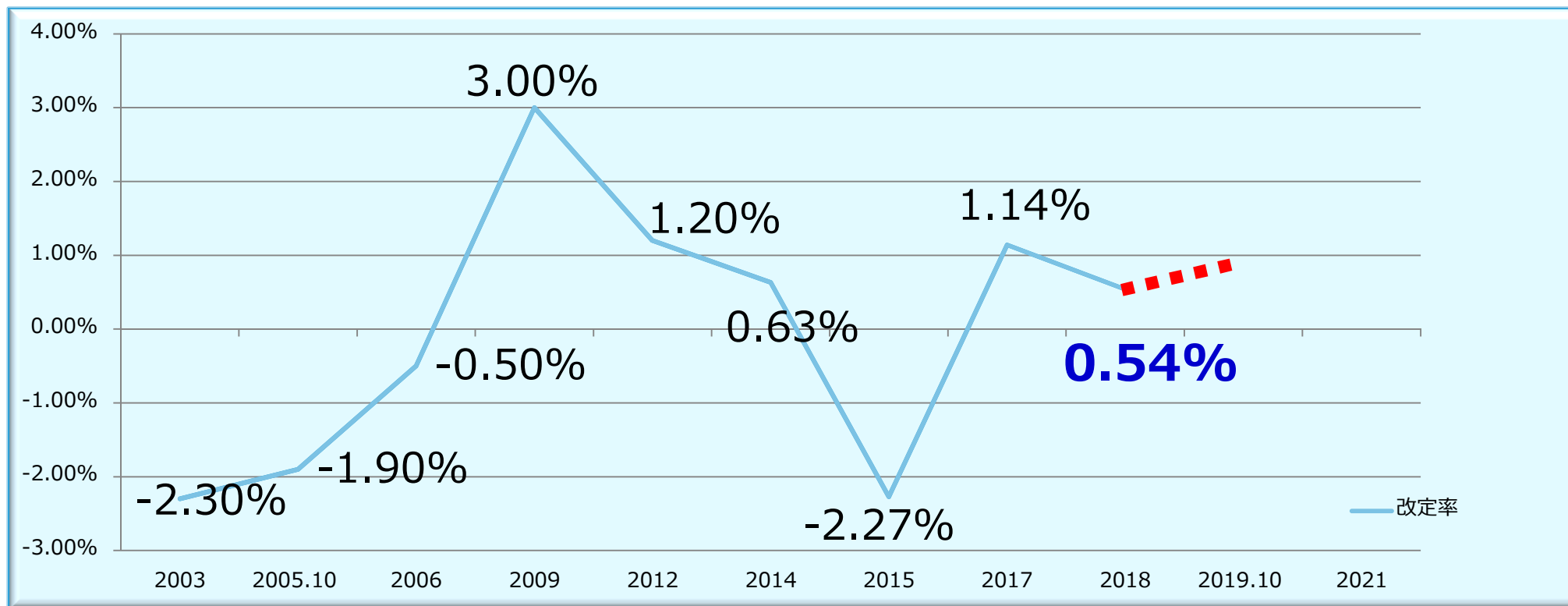
完全子会社

（出資比率100%）

※2015年8月設立

2018年度介護報酬改定の影響

介護報酬改定の影響（報酬改定の推移）



自立支援等

居住費・食費等見直し等

予防給付・地域包括ケア等

人材確保・処遇改善等

医療と介護の連携等
 定期巡回・看多機の誕生

消費税の引き上げ等

サービス評価の適正化等

処遇改善

今回の改定

（消費税の引き上げ等）

2018年度介護報酬改定について

居宅サービス、施設サービス、居宅介護支援全ての改定率は+0.54%となった。(H29.12.18)

I 地域包括ケアシステムの
深化・推進

II 自立支援・重度化防止
質の高いサービス実現

4つの
基本的な
考え方

III 多様な人材の確保と
生産性の向上

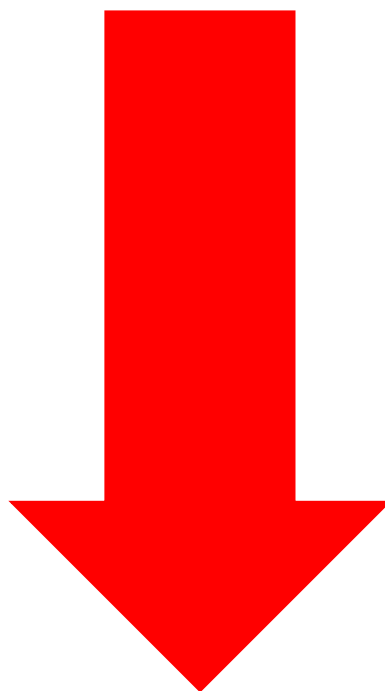
IV 介護サービスの
適正化・重点化
制度の持続可能性の確保

改定率+0.54%

質の高いサービスの評
価等
+1%

給付の適正化
▲0.5%

2018年4月
介護報酬改定



当社介護事業
マイナス影響
-1%程度

当社の介護事業の基幹となる
デイサービスにおいて

①基本報酬の引下げ

②サービス提供時間区分の見直し

の影響が大きく、介護事業全体を押し
下げ、実質的なマイナス改定となる

2018年度の介護報酬改定は、全体として0.54%のプラス改定
だったが、デイサービスのマイナス影響は大きく、当社介護
サービス全体の影響は-1%程度

デイサービス事業に対する報酬改定の影響

①通常規模型のサービス提供時間区分の見直し

※当社一般型デイサービス 35/44

改定前（～2018年3月）		
要介護1	7～9時間	656単位
要介護2	7～9時間	775単位
要介護3	7～9時間	898単位
要介護4	7～9時間	1,021単位
要介護5	7～9時間	1,144単位



改定後（2018年4月～）		減少率
7～8時間 8～9時間	645単位 656単位	-1.7% 0
7～8時間 8～9時間	761単位 775単位	-1.8% 0
7～8時間 8～9時間	883単位 898単位	-1.7% 0
7～8時間 8～9時間	1,003単位 1,021単位	-1.8% 0
7～8時間 8～9時間	1,124単位 1,144単位	-1.7% 0

②大規模型Ⅰ・(Ⅱ)の基本報酬引下げ及び提供時間区分の見直し

※当社大規模型デイサービス 9/44

改定前（～2018年3月）		
要介護1	7～9時間	645単位(628単位)
要介護2	7～9時間	762単位(742単位)
要介護3	7～9時間	883単位(859単位)
要介護4	7～9時間	1,004単位(977単位)
要介護5	7～9時間	1,125単位(1,095単位)



改定後（2018年4月～）		減少率
7～8時間 8～9時間	617単位 (595単位) 634単位 (611単位)	-4.3% (-5.3%) -1.7% (-2.7%)
7～8時間 8～9時間	729単位 (703単位) 749単位 (722単位)	-4.3% (-5.3%) -1.7% (-2.7%)
7～8時間 8～9時間	844単位 (814単位) 868単位 (835単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.8%)
7～8時間 8～9時間	960単位 (926単位) 987単位 (950単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.8%)
7～8時間 8～9時間	1,076単位 (1,038単位) 1,106単位 (1,065単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.7%)

通常規模型：平均月延利用者数301～750人
大規模型Ⅰ：平均月延利用者数751～900人

大規模型Ⅱ 平均月延利用者数901人～



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

中期成長戦略の骨子

**1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進**

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

**1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進**

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

介護報酬改定の影響を考慮し、利益を意識した事業展開

- **定員数が少なく、老朽化したデイサービスセンターのリニューアルの際に近隣で移転が可能な介護事業所を集約し、複合型在宅介護施設として開設**

⇒同じ建物に複数の介護サービスが入ることによって、そのエリアでのケアサービスの知名度が上がる。さらに複数の事業所で広いスペースを賃借するので、賃料の効率化も図れる。

- ・ 2018年5月 足立区島根にデイサービスと居宅介護支援の複合型施設

※居宅介護支援事業所は2018年3月に既にオープン

- **好調なレンタルサービスの事業所を新設**

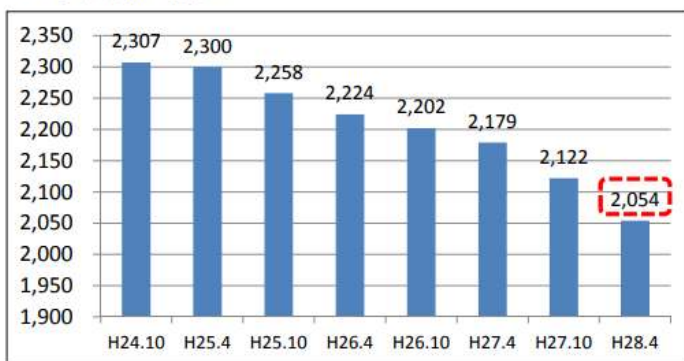
⇒現在、蒲田にあるレンタルサービスの事業所で東京23区のドミナントエリアをすべてカバーしているため、事業効率を考え、新たに事業所を新設する。

やさしい手社の訪問入浴事業を譲受し、当社訪問入浴事業を強化

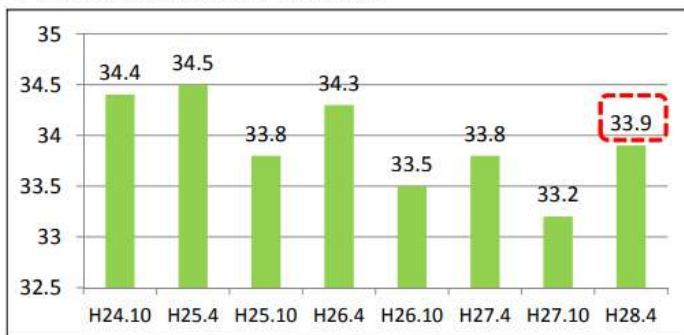
訪問入浴の事業所数・利用者数等

- 請求事業所数は減少しており2,054事業所、1事業所あたりの平均利用者数は微増減を繰り返しており、直近では33.9人となっている。
- 利用者数は約69,800人で、利用者の約90%が要介護3以上の中重度者である。

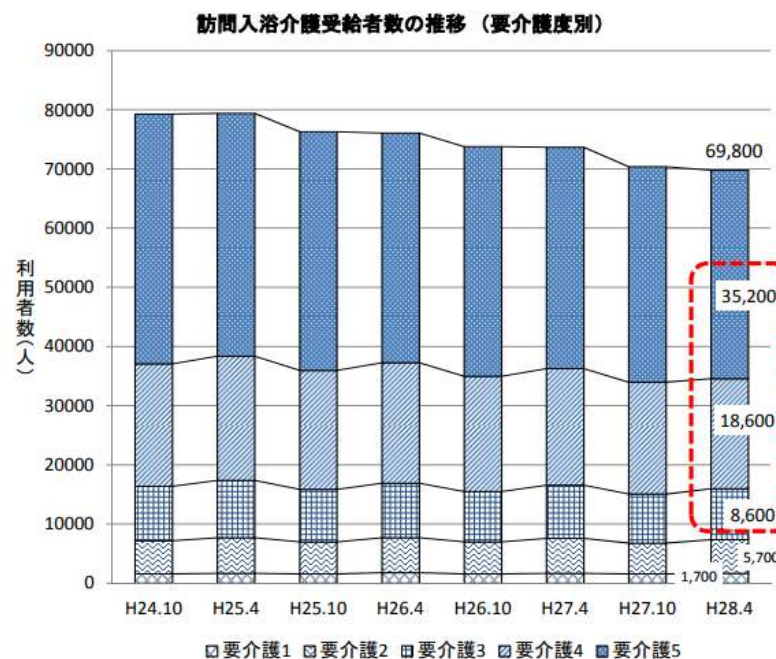
■ 事業所数の推移



■ 1事業所あたり利用者数の推移



■ 訪問入浴介護の受給者数（要介護度別）



出典：介護給付費実態調査各月審査分

(資料出所)厚生労働省「介護給付費実態調査」(各年4、10月審査分)

70

出典：厚生労働省「第142回社会保障審議会介護給付費分科会資料(参考資料1 訪問介護及び訪問入浴介護)」p.70

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000170289.pdf>

2018年5月1日アクセス.

訪問入浴 4 事業所の譲受により、安定的な収益確保を図る

■ 2018年6月にやさしい手社より訪問入浴事業を譲受

⇒訪問入浴の市場は継続的に縮小はしているものの、要介護度が高い方の在宅割合は上がっていくために、継続的に需要は存在していく。事業者の撤退が進むことにより1事業者当たりの利用者数は増加し、残存事業者の経営効率は改善される。効率化を図りながら訪問入浴事業に注力することにより、比較的介護事業において利益率の高い当該事業は、効率化を図りながら事業に注力することにより安定的な収益の確保が可能



お客様とスタッフをやさしい手社から譲受し、訪問入浴事業のさらなる強化を図る

1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

2018年度の報酬改定を考慮し、利益確保を意識した施策

- **事業部に横串を通す事業戦略部がプロジェクトを推進**
⇒新たに設置された事業戦略部が事業部を越えた連携を図り、プロジェクトを組成し、事業を推進する。
- **新たに取得する加算を選定**
⇒2018年度介護報酬改定の影響を事業部毎にしっかり確認し、今回の報酬改定だけでなく、今後も見据えて投資効率などを踏まえ、各事業部毎に対応策（取得すべき加算）を中長期的目線で選定
- **事業所別採算管理による不調事業所の原因究明と各事業所の稼働率向上**
⇒事業所別に採算管理を行っており、不調事業所の原因究明を行い、タイムリーに改善作業を行っていく。
⇒事業所別の採算管理を日々行うことにより、目標との差異を把握することが容易にでき、さらに月次毎の目標達成で褒賞を各事業所に与えることで、稼働率の上昇を図る。

1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

介護人材の人材紹介事業本格化

■ 人材紹介事業の本格スタート

⇒今期を本格的な人材紹介事業スタートとして、3,500万円の売上を想定。
年度毎に前年度の倍増以上の売上成長を計画。



【株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル 人材紹介登録サイト】
『がいの架け橋』(https://www.carehc.co.jp/)

1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

中国関係会社の状況

会社名	設立	出資比率	当面の目標
上海福原護理 服務有限公司 (上海ケアサービス)	2015年8月	当社100%	<ul style="list-style-type: none"> ・エンゼルケアサービス提供 3 葬儀場における稼働率の向上と人材育成 ・訪問入浴の知名度向上と利用者増加 ・上海保原からの養老院運営の受託及び人材育成
北京福原順欣養老 管理有限公司 (北京ケアサービス)	2017年8月	当社60%	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年1月からのサービス開始に向けての自社でのサービス立上げとフランチャイズ準備 ・営業強化により、早期のエンゼルケアサービス提供開始
上海保原健康管理 諮詢有限公司 (上海保原)	2018年1月	当社30%	<ul style="list-style-type: none"> ・経営及びコンサルティング委託される養老院数の増加

グループ全体の利益を考慮し、無理な投資は行わずに着実に実績を重ねる。中国の介護保険制度やサービス利用補助金などの状況を見て、本格的な収益寄与を2021年3月期とする



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

3か年計画数値目標

2021年3月期に売上高100億円突破想定

(単位:百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (予想)	2020年3月期 (予想)	2021年3月期 (予想)
売上高	8,611	8,910	9,373	10,105
営業利益	235	256	373	545
経常利益	232	261	280	552
親会社株主に帰属する 当期純利益	118	155	240	348

当初の3か年計画では、関係会社の本格的な収益寄与を2020年3月期と計画していたが、中国の介護保険及びサービス利用補助金の状況を考慮し、2021年3月期に変更します。2021年3月期は売上高100億円を突破する想定。

ご清聴ありがとうございました。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

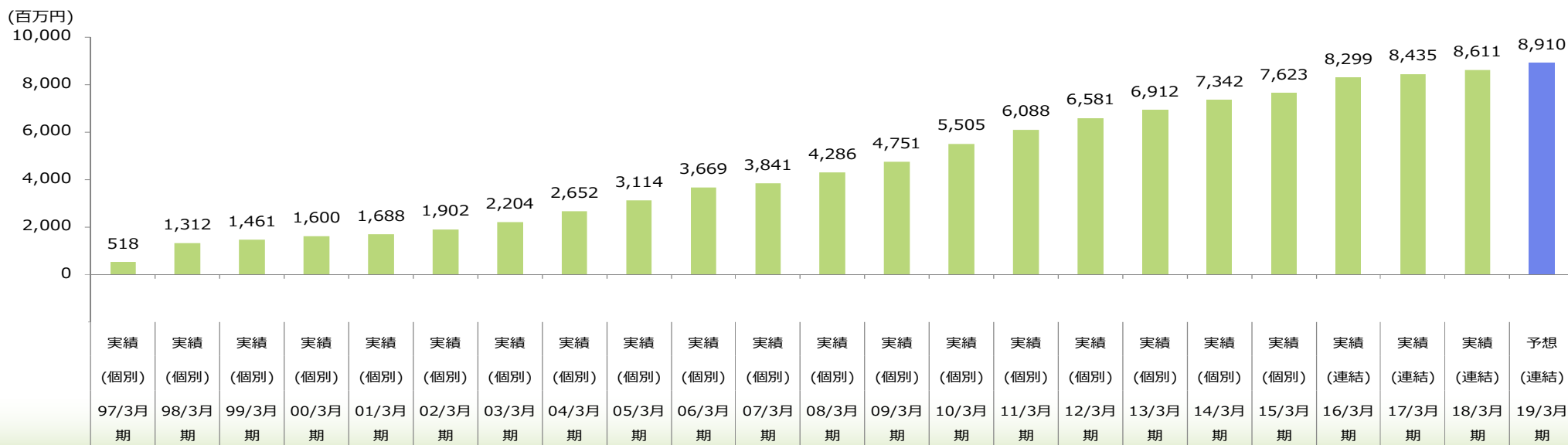
参考資料

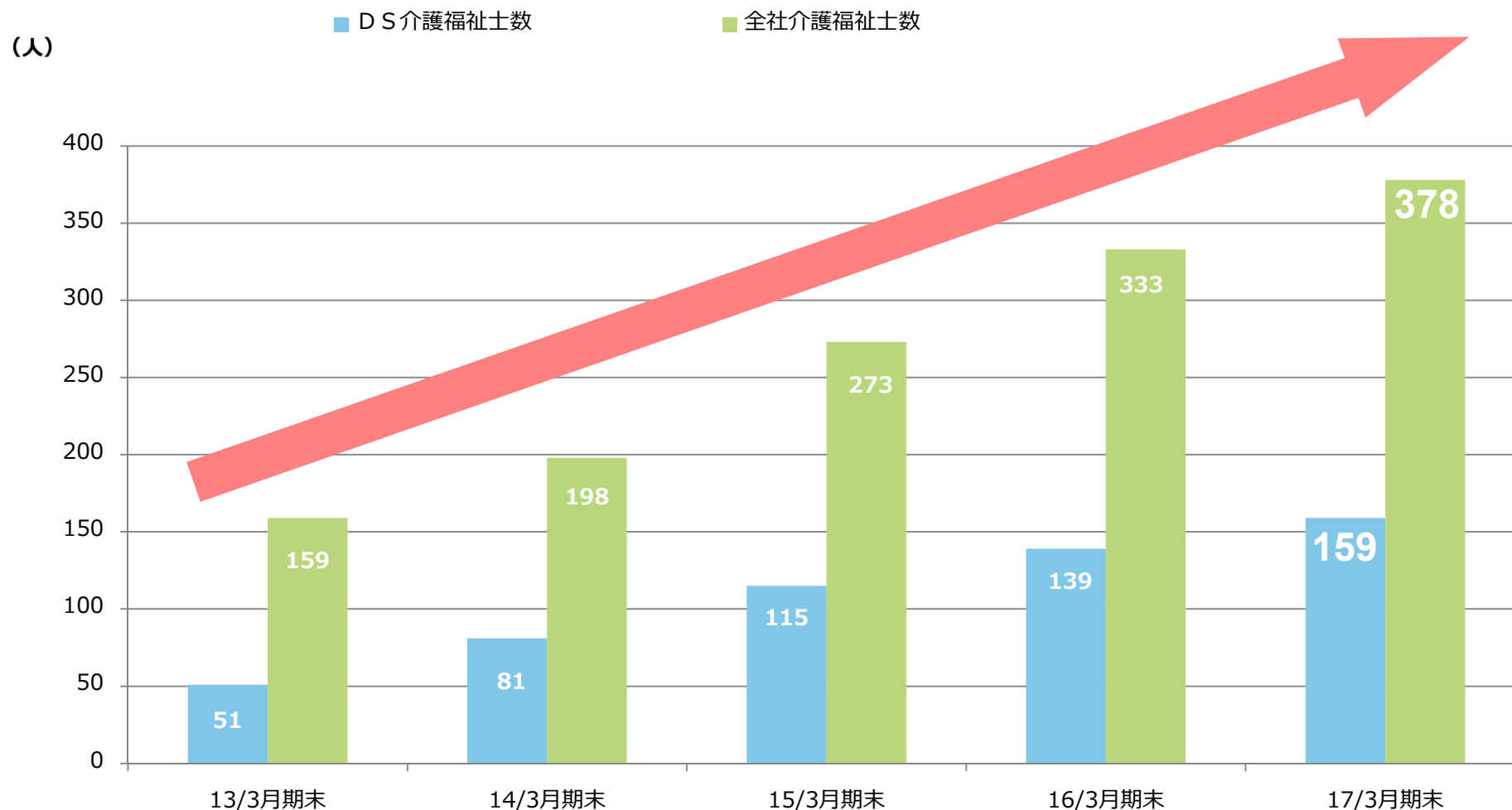
ケアサービスの状況



当社の売上高推移と主な沿革

- 1970年 寝たきり老人などの布団の消毒乾燥を行う寝具乾燥事業で創業
- 1983年 高齢者福祉のための介護サービスを目的とした介護部門を創設
- 1990年 葬儀におけるエンゼルケアサービスを始動
- 1991年 訪問介護サービス、訪問入浴サービスのための株式会社ケアサービス設立
- 1992年以降、大田区を皮切りに首都圏を中心に、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）、ショートステイなどを開設
- 2015年 中国上海市に完全子会社の『上海福原護理服務有限公司』を設立
- 2016年 訪問看護を開始し、医療と介護の連携を強化
上海にてエンゼルケア事業開始
- 2017年 人材子会社『株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル』を設立
中国北京市に連結子会社の『北京福原順欣養老管理有限公司』を設立
小規模多機能型居宅介護を開始
- 2018年 中国上海市に持分法適用関連会社となる『上海保原健康管理諮詢有限公司』を中国企業と合併で設立





※介護福祉士の合格者発表が3月下旬のため登録証が届くまで正確な数字が把握できないために、確定したものを発表します。

■ 教育・研修の強化により、着実に介護福祉士数が増加

■ 市場環境の前提

- 高齢化は引き続き進み介護需要は上がるが、新規事業者の参入等により、競争はさらに激化
- 3年に1度の介護報酬改定については、今後とも報酬抑制の傾向が継続

【ご参考】

	(単位)	18/3月期 実績	19/3月期 予想	20/3月期 計画	21/3月期 計画	当中計期間 年平均変化率
売上高	(百万円)	8,611	8,910	9,373	10,105	6.5%
介護事業	(百万円)	6,149	6,381	6,781	7,424	7.9%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,908	1,980	2,053	2,155	4.3%
フォーライフ事業	(百万円)	554	547	537	526	-2.0%
営業利益	(百万円)	235	256	373	545	45.9%
経常利益	(百万円)	232	261	380	552	45.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	118	155	240	348	49.6%

主要拠点数 ※1

デイサービス	(拠点)	48	47	49	51	4.2%
エンゼルケア	(拠点)	22	22	23	24	4.4%
フォーライフ ※2	(拠点)	4	4	4	4	0.0%

※1 主要拠点数は国内のみ記載しております

※2 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部広報IR

TEL 03-5753-1170

E-mail ir@care.co.jp